神精協薬剤部長会　第2回研修会報告書

1. 研修会名：令和5年度薬剤部長会　第2回研修会
2. 日　　時：令和5年10月18日（金）15：00〜16：30
3. 場　　所：「AP横浜　4階　Bルーム」
　　横浜市西区北幸2-6-1　ONEST　横浜西口ビル
　　開　始　挨　拶：澤山　透理事（相模ヶ丘病院）
　　終　了　挨　拶：藤渡　辰馬理事（横浜相原病院）
　　司　　　　　会：小川　ひろみ運営委員（あさひの丘病院）
4. 内　　容：テーマ「クロザピンについて」
　　講　師　あさひの丘病院　院長　福島　端　氏

・統合失調症の生化学的仮説、薬物療法のアンメットニーズ、DSP等
・クロザピンとは、治療抵抗性統合失調薬として適応が認められた抗精神病薬。
・特に注意するべき副作用は無顆粒球症など血球障害。重大な副作用として心筋症、心膜炎、てんかん発作などがある。・
・クロザリルモニタリングサービス（CPMS）について

【質疑】Q1 多剤併用やCP換算値が2000以上のケースでも完全切り替えで良いのか
　A　切り替えで良いと考える。病態により隔離室の使用準備等行う
　Q2 心筋炎を起こした患者への再投与は可能か？ご経験はあるか？
　A　CPMSでレッドになり中止した方は再投与を検討中。
　　心筋炎に関しては原因がクロザピン単独の時は再投与していない。
　Q3 病態が悪く本人に同意が取れない。家族もいないという場合の投与は。
　A　場合によるが、院長判断という事でも良いのではないか
　Q4 病状が良くなっても退院にならない人が増えている。アウトリーチは。
　A　グループホームなどでクロザピン服用中の患者を受け入れ、外来通院もしてくれる施設も増えてきた。探してみては。
　Q5「この人がこんなに良くなった」という実感があるか
　A　効果が実感でき、患者、家族が大変喜んでくれる。
　Q5 抗精神薬を併用する場合、プロトコルはあるか。
　A　特にはない。完全切り替えで大丈夫。抗不安薬等は併用している。

5. 参加人数：計31名　（会場参加14名、オンライン参加17名）
6. 担当理事及び運営委員
　相模ヶ丘病院　澤山院長、横浜相原病院　藤渡院長
　運営委員 4名（庭木、小川、有木、松野）　事務局　2名（杉山、羽田）

（記録　運営委員　庭木　圭子）